

発行：東京都港区虎ノ門
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ
ィング西棟4階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail: icscp@nifty.jp
2013年6月25日(火)No.003

ICSGP 産応協ニュース <第3号>
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

**「今後のHPCI計画推進のあり方に関する検討WG」の中間報告(案)
に対する意見募集 一産応協から産業界の意見を提出(6/12)一**

文部科学省研究振興局では、今後10年程度を見据えた我が国のHPCI計画推進のあり方を検討するため、平成24年2月HPCI計画推進委員会のもとに「今後のHPCI計画推進のあり方に関する検討ワーキンググループ」を設置し、調査検討を進めています。

このたび(5/14)、中間報告をとりまとめるにあたり意見募集があり、産応協では、このパブコメに対する産業界の今後の利活用推進を考えての要望意見を提出しました。また、第12回運営委員会では、今後とも引き続き、本件について産業界からの意見を幅広く受け付けて議論し、その対応を産業界として速やかに行うことを確認いたしました。

<意見要旨>

- ・産業界にもスーパーコンピューティング技術を利用する大きなニーズが存在し、次期フラッグシップ環境においても、強い利用ニーズがあり、次期フラッグシップシステム及び第二階層のシステム開発の強力な推進を要望する。
- ・次期フラッグシップ環境では、ハードウェア/システムソフトウェアの整備とともに、ユーザ意見を取り入れた「アプリケーションソフトウェア開発」、「利用環境整備」、「スパコン環境を使いこなす人材育成プラン」等が重要である。
- ・さらに、産業利用ニーズについて、独自の価値基準に基づく利用促進施策が求められる。

報道発表(文部科学省)：http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/05/1334946.htm

第12回運営委員会の開催

平成25年6月18日(火)午前10時から午前11時30分まで、トヨタ自動車(株)東京本社会議室において第12回運営委員会を開催し、議事次第に基づき、報告事項、審議事項の承認が行われた。議事に先立ち、HPCI計画についての情報提供として、「今後のHPCI計画推進のあり方に関する検討WG中間報告案」文部科学省 研究振興局 下間康行課長から検討状況報告あり、引き続き「スーパーコンピュータ京の現状と今後について」独立行政法人理化学研究所計算科学究機構平尾公彦機構長から講演を賜った。



(下間課長)



(平尾機構長)

[議事次第]

- 第1号議案 前回運営委員会議事録の確認
- 第2号議案 正会員入会/退会/新規運営委員の承認
- 第3号議案 2012年度事業活動報告案の承認
- 第4号議案 2013年度事業活動計画案の承認
- 第5号議案 2013年度予算案の承認
- 第6号議案 運営規約一部改訂案の承認
- 第7号議案 文部科学省へのパブリックコメント提出について
- 第8号議案 HPCI コンソーシアムの活動報告

正会員数の現状 2013/06/18 (順不同)

産応協は、平成 25 年度活動から新体制による活動の強化と運用の安定化を図るため、応協の活動に賛同する企業・団体からの強力な支援を得て、活動の展開を図ることとなりました。現時点の会員構成は次のようになっている。(23 社・2 団体)

なお、セミナー参加メンバー並びに従来の登録メンバーは、引き続きメンバーとして本協議会の活動にご協力、ご支援を賜るとともに、産業界の個々の意見、要望として、今後とも積極的にご提案頂きたく、活動の中に反映していくこととした。

<正会員運営委員会委員>

トヨタ自動車(株)、三菱電機(株)、(株)三菱化学科学技術研究センター、(株)I H I、J Xホールディングス(株)、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)東芝、(株)日立製作所、日本電気(株)、富士通(株)、帝人(株)、東レ(株)、みずほ情報総研(株)、積水化学工業(株)、住友化学(株)、川崎重工業(株)、(株)安川電機、公益財団法人鉄道総合技術研究所

<アソシエイト会員>

一般社団法人日本自動車工業会

<企業賛同正会員>

旭硝子(株)、ダイキン工業(株)、旭化成(株)、新日鐵住金(株)、三井物産(株)

会員種類の定義と機能の範囲<参考>

会員区別の最終案を以下に示す。(2013/04/09 企画委員会審議結果案)

<会員構成と委員会の役割/責任>

種類 [規模]		会費 (参加費)	議決権	運営委員会/ 企画委員会	実行委員会 (分科会/WG)	情報ア クセス*	具体的内容 (貢献内容)	会員特典
正会員 (社員)	運営主体者 (牽引者)	500k¥	○	運○ 企○	○	ABCD	幹事会社として 運営委員会/企画委 員会の運営に従 事[資金+人材]	セミナー、スク ール無料受講 (無制限)
特別会員	協力要請者 (人材確保)	—	—	運○ 企○	○	ABCD	運営、活動に必要 な個人で、企画委 員会で協力要請 した者[人材]	セミナー、スク ール無料受講
登録会員 [個人登録]	協力者 (現登録企業 会員)	—	—	—	△	CD	産業界意見聴取 (アンケート他等)に協 力いただける企 業/団体[情報]	セミナー、スク ール有料
アソシエイト会員 [数団体]	ユーザコミュニティ 代表として 連携できる 団体(連携/ 共有)	(500k¥) ×1口 以上	—	運— 企△	○	ABCD	資金的支援 と連携事業 を頂ける団 体[資金+連携事 業]	セミナー、スク ール無料 (但し年会費 1口当たり各 回3名まで)

*○は参加権利を示す、△は委員会委員長が招集判断する。

*情報レベル:会員種別に対応した HP のアクセス制限機能の追加が必要 (要開発費)

A:運営委員会、企画委員会等での配布資料、関連する外部資料

B:実行委員会 (分科会/WG) での配布資料、関連する外部資料

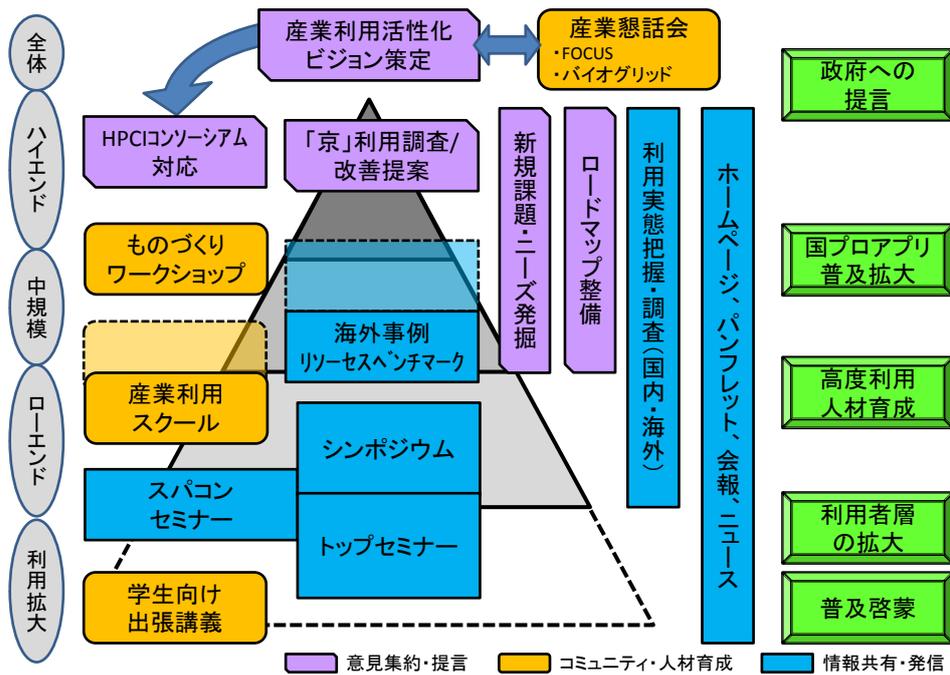
C:スーパーコンピューティング技術に関するタイムリー情報 (ワンストップ化)

D:産応協やスーパーコンピューティング技術の公開情報、開催案内等 (公開 HP/Mail)

第4回企画委員会の開催(事業活動計画全体像の整理)

企画委員会では、平成25年度事業活動計画に当たり、産応協の活動においてなすべき事業計画を明らかにするため、設立以来の活動経過と現状における諸課題への対応、さらに今後の展望を探りながら事業活動の全体像を次のように整理し、会員相互の情報共有を行うこととしました。また、事業活動の詳細については、進捗活動を適宜に報告するとともに、より多くの方々が参加を頂き、協力支援し、成果を創出できるように、忌憚のないご意見を事務局に賜ることとした。

2013年度事業計画全体像



平成26回スパコンセミナーの開催案内(参加のお願い)

平成25年度第一回(通算第26回)スパコンセミナーを平成25年7月25日(木)午後1時から午後5時まで東京都港区(東京タワー前)機械振興会館地下3階研修2号室で開催するので、関係者への周知と参加を案内を行う。今回のテーマは、「燃料電池」とした。

[プログラム]詳細は産応協ホームページに掲載している。(http://www.icscp.jp/)

「京」を中核としたHPCIの現状と今後のスパコン開発・利用のあり方

文部科学省 研究振興局 情報課 計算科学技術推進室 室長 林 孝浩

燃料電池の研究開発と取り巻く動向 -FCVの市販化に向けて-

技術研究組合 FC-Cubic 副研究所長 大仲英巳

第一原理分子動力学による電極反応予測への挑戦 -計算手法整備-

東京大学物性研究所 准教授 杉野 修

燃料電池(電極反応、電解質)の第一原理分子動力学シミュレーション

東北大学金属材料研究所 客員研究員 池庄司民夫

燃料電池電解質膜のシミュレーション

株式会社豊田中央研究所 有機材料プロセス研究室 主任研究員 山本 智

燃料電池セル設計のための全体輸送特性シミュレーション

みずほ情報総研株式会社 ITソリューション部 次長 滝本正人

2012 年度事業活動報告概要(活動の成果・提言)

・新体制による産協活動の刷新

第 10 回運営委員会では、新体制を「運営委員会」、「企画委員会」、「実行委員会」の 3 委員会制とし、業界を代表とする企業で委員会を構成。構成は、運営基盤の安定化と活動の強化を図るため、会費制度を導入し、わが国の産業界に対して幅広く呼びかけを行い、正会員からなる運営を推進とした。

第 11 回運営委員会では、新体制の委員会に改組し、新しい委員構成の下で具体的な活動展開を行うこととした。

・COCN 活動からの産業利用促進の展開

COCN(Council on Competitiveness-Nippon:産業競争力懇談会)に「HPC 利用研究会」を設けて、産業界における「ものづくり連携システム」のあり方などについて、今後の仕組みの具体化並びに多様なシミュレーション情報と技術者をつなぐための高度連携技術(可視化等)の提言をとりまとめた。

・HPCI コンソーシアムでの産業利用促進の展開

産協は、一般社団法人 HPCI コンソーシアムの設立当初から産業界代表としてアソシエイト会員参加を行い、理事の推薦を得て就任した。とくに産業界における利活用の観点からの中心的な役割を果たし、産業界から当初想定していない制度上の課題、「産業利用のスキームについて」、「利用に関する一元化情報提供に関して」、「支援関係に関して」等の議論を進め、具体的な成果を産業界の意見として要望、提案した。

開催のご案内

○第 3 回実行委員会の開催

日時:平成 25 年 7 月 8 日(月)午後 3 時から午後 5 時

場所:ダイキン工業会議室

○HPCI コンソーシアム産業利用 WG における意見交換

日時:平成 25 年 7 月 10 日(水)午後 5 時から午後 7 時

場所:神戸&東京(TV 会議)

○(仮称)スパコン「京」の今後はどうなるの?

～スーパーコンピュータ「京」を知る集い特別版～

概要

- ・目的:計算科学の将来(ポスト京など)や期待等について議論いただくこと
- ・対象:一般および報道関係
- ・開催日:2013 年 8 月 24 日(土)午後 2 時から午後 5 時
- ・開催場所:東京伊藤謝恩ホール(400 名定員)
- ・主催:理化学研究所計算科学研究機構
- ・後援:RIST, FOCUS, 産協ほか

プログラム案

- ・京の成果の報告
- ・産業界「今後の HPCI 計画に対する期待」
- ・文科省「今後の HPCI 計画の検討状況」
- ・パネル「スパコン「京」と、今後への期待」

[産協協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com